

エクステンションセミナーに参加して

昨年9月10日、11日の両日、岩手大学で開催された「エクステンションセミナー」に出席してきましたので報告いたします。

エクステンションセミナーとは日本全業工業が主催し、今年で10回目の開催となります。毎回テーマがあり、今回は「繁殖」がテーマでした。鉦路地区からは2名の参加となりました。

前日に鉦路を出発し、夕方に盛岡市に到着しました。道東とは違いまだ残暑がきびしく、日中は25度を超えて汗ばむ陽気でした。岩手県の県庁所在地である盛岡市は、人口約30万人の都市で、市内を北上川・中津川・雫石川が流れ、遠くに雄大な岩手山を望む景色のよい町でした。神社・仏



石割桜

閣が多く、宮沢賢治や石川啄木などが青春時代をすごした町として知られています。我々は盛岡について何も予習してこなかったために、駅前を右往左往して時間を無駄に過ごしてしまいました。何とか観光センターをみつけ、観光パンフレットを手にしてからバスに乗り市内を散策。盛岡城址や盛岡地方裁判所敷地内の石割桜を見学し、歴史に触れてきました。



居在家先生による実習

その夜は、岩手大学出身で現在、九州地方のNOSAIに勤務している若い獣医師と夜の盛岡を楽しみ、お互いの勤務体系や疾病の傾向や治療法などを情報交換し有意義に過ごしました。

二日目の午前中は岩手県農業研究センター・畜産研究所へ移動。岩手県の家畜の飼養動向・産出額の話があり、岩手県の畜産産出額は全国4位（1位はもろちん北海道）ということにはちょっと驚きでした（岩手県出身の人ごめんなさい）。その後牛舎へ向かい、牛を使って「超音波診断・メトリチェック」を実施しました。超音波診断はすでに現場で経験していますが、他のNOSAI等では全く使

用経験がない獣医師も多く、差を感じました。5名で1頭の牛を使い超音波診断装置で子宮・卵巣へのアプローチを学び、またメトリチェックとサイトブラシによる子宮内膜細胞診を実施しました。メトリチェックとは特殊な器具により粘液を採取し、その性状により分娩後の子宮回復や内膜の状態を評価する方法の一つとして、宮崎大・大沢先生が研究されています。サイトブラシは、百円ショップで売っている化粧品道具を改良したものを使い、簡易な方法で子宮内膜を採取し、鏡検することで内膜炎の状態を診断できるといえるすぐれものです。現場での応用を考慮した場合、メトリチェックのほうが簡単でシンプルな作業体系であるとさえそうです。

午後は大学に戻り、あらかじめ採血した血液を用い、中プロジェクト濃度測定実習を行いました。私は学生時代を経験がありますが、当時は測定に二日もかかっていたものが、今はキットを使用しわずか数時間で結果がでることに驚きと、時代の流れを感じました。「いい時代になったものだ」と一人ため息をついてしまふのでした。

その夜の懇親会では他のNOSAIの仲間と大いに盛り上がり、懇親会終了後は、盛岡名物「じゃじゃ麺」を地元の人しか行かないような店で堪能。あまりのおいしさに帰りに空港で、お土産用にたくさん買い込んでしまいました。

今回の出張で貴重な体験をさせていただき、感謝申し上げます。

(浜中家畜診療所診療課 松井伸二)



大沢先生による実習



ホルモン測定中